

平成27年度学校評価の報告について

○学校評価は、「学校運営の改善を目指し、教育水準の向上を図る」ことを目的とし、各学校園が、自校(園)の教育活動その他の学校運営の状況について、以下のとおり評価を行い、その結果に基づき必要な措置を講ずることが、平成19年改正された学校教育法、同法施行規則に示されている。

- ①教職員による自己評価を行い、その結果を公表すること
- ②学校の自己評価について保護者などの学校の関係者による評価（「学校関係者評価」）を行うとともにその結果を公表するよう努めること
- ③自己評価の結果・学校関係者評価の結果を設置者に報告すること

○文京区教育委員会では、法改正に基づき平成20年度より学校評価を実施している。平成21年4月に「文京区立学校関係者評価委員会設置要綱」を定め、「学校関係者評価委員会」を組織して、学校関係者評価を実施することとした。平成22年度には、各学校からの学校評価報告とともに、区全体の状況を把握するための参考として、学校関係者評価に区共通項目を策定した。

○ここに、平成27年度学校評価の報告における区立学校(園)の重点目標及び目標ごとの学校関係者評価とともに、学校関係者評価区共通項目の集計結果を示す。

○教育委員会では、各学校からの学校評価報告を受け、学校支援の具体的な手立てを講じるとともに、教育施策の実行状況や進展状況を把握する資料とする。

平成27年度文京区立幼稚園・小中学校 学校評価 重点目標

※数字は、重点目標に設定した学校園数（のべ数）

幼稚園（10園）		小学校（20校）		中学校（10校）	
家庭・地域との連携	8	学力向上	18	学力向上	10
教職員連携	6	豊かな心・人間性・感性の育成	16	豊かな心・人間性の育成	7
信頼される園づくり	5	健康・体力の保持増進	10	教職員の専門性・指導力（資質）の向上	3
心と体の育成	4	家庭・地域との連携	10	開かれた学校づくり	2
安全・安心な園づくり	3	特色ある教育の実践	5	信頼される学校づくり	2
一人一人のよさを引き出す教育	2	学校（組織）力の向上	5	生活指導の充実(健全育成)	2
教員の専門性・指導力の向上	1	開かれた学校づくり (情報発信を含む)	4	安心・安全な学校づくり	2
		安全・安心な学校づくり	3	特色ある教育の実践	1
		教員の専門性・指導力の向上	2	進路指導の充実	1
		知・徳・体のバランス	2	体力向上	1
		学校運営	1	家庭・地域との連携	1
		一人一人を大切にする教育	1	特別活動の充実	1
		社会性の確立	1	基本的な生活習慣の確立	1
		地域に根付いた教育	1	自己肯定感を高める教育	1
		規範意識の育成	1	道徳の充実	1
		生活指導の充実	1		
		健やかな心身の育成	1		
		ICTの活用	1		
		教育環境の整備	1		
		信頼される学校づくり	1		
		教育課題	1		

幼稚園 重点目標ごとの関係者評価【肯定的な意見】抜粋

<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・年長時のチャレンジ発表会は、一生懸命取り組んでいる挑戦中のことを発表する機会としていところがよい。親子で失敗してもいいという価値観を教えていただく機会になった。 ・子どもを通して親が成長していくためにも、地域の輪を作っていないといけない。健全育成会の行事を通して、保護者を巻き込み地域のつながりを育てていきたい。 ・保幼小中の連携に力を入れてもらい、ありがたい。地域の中で子どもたちが一緒に育っている感じがする。幼稚園児にとって、小学校1年生や様々な人との交流は経験の広がりにつながっている。 ・中学校との交流の一つに風揚げがあるが、広い園庭を实によく走っていて元気である。とても成長を感じる。 ・園側が保護者や地域の意見に対して一つひとつ回答しているので、とても安心している。 ・園庭環境を変えることについて、保護者や地域に発信していただき、園側の意図について理解が得られている。 ・研究発表の参観など、幼小の教職員の交流といった連携が積極的に進んでいてよい。
<p>教員の専門性の向上・指導力</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園ではねらいに基づいて、幼児が自分で考えて主体的に行動できるよう、教師が表に出過ぎず援助している。経験もきちんと積み重ねている。
<p>安全・安心な園づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公開保育を見学して、園庭の活用、可動遊具の活用など工夫して体力づくりに力を入れていることがわかった。 ・安全・安心な環境の中で、一人一人の子供が伸び伸びと表現しており、遊びの楽しさが感じられる。 ・送っていただいた資料を見ても、園長の説明を聞いても、安心できる。幼児も保護者も教職員も素晴らしい理想的な幼稚園である。 ・避難訓練、防犯訓練、安全指導は様々な想定で訓練を積み重ねている。地域の情報を集めたり、園から発信したりする機会をこれからも活用してほしい。
<p>心と体の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自然環境と関わり、感動体験や直接体験を通して、心が豊かになっている。幼稚園が、自然環境を工夫した援助が効果的であった。今後も自然を大切にする子供に育ててもらいたい。 ・一人一人の良さに着目している取り組みが、保護者アンケートから、95%という高い評価を受けている。この点は小学校生活につながる重要な点であり、自分の良さを感じるとともに、他者のよさを感じる教育を引き続き行ってほしい。 ・自然環境の豊かさだけでなく、園舎内の装飾などから季節感が伝わってくる。日本の伝統行事に触れあうことを大事にしている心育成に繋がっている。 ・体力向上は幼稚園の取り組みから重要である。園で、研修テーマとして取り組んでいることは評価できる。
<p>共に生きる力の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な教育的支援が必要な幼児に対して、また預かり保育に対してなど、先生方がきめ細やかに対応していることに感服する。 ・園生活で起きた問題に対する対応について、園での指導の経過を随時保護者に伝えていくことや、園庭開放での子どもの姿を目にする機会に保護者の協力も得ていくなど、協力していくように努力したことが、よい評価に繋がっている。
<p>遊びの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保幼小中の連携が深いのがこの地域のよさである。同年齢の子どもたちに必要な環境をお互いに考えられるとよいと思う。 ・幼稚園と保育園が交流していくことは、遊びが広がるよい機会である。また、同じ小学校に進学する子どもがいることから、今後も交流していく。

幼稚園 重点目標ごとの学校関係者評価【改善に向けた意見】抜粋

<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 保護者の絵本の読み聞かせ（お話をさぐるま）では、過去の絵本読み聞かせリストがあると、絵本の選書に幅が広がったり、保護者自身の学びにつながったりしてよいと思 PTA活動が十分にできない保護者が増えてきている。保護者同士で不公平感が生じないように、PTA活動の仕事内容の見直しや精選をしていく必要がある。 コミュニケーション力とともに、たくましさを幼児に育み、保護者に啓発してほしい。 アプローチカリキュラムに沿って、小学校への円滑な接続ができるような活動を取り入れる。 保護者にも地域の行事等のお手伝いをしてもらいたい。また、子どもたちには住んでいる町の祭りには参加させてほしい。 園内研究で取り組んできていることは、保護者や地域に伝えていくとよい。 保幼小中の連携についてはとてもよい取り組みなので、さらに交流を深めていけるとよい。今後は、言葉遣いについてTPOに合わせて使えるように幼稚園では指導しているので、小学校の指導につなげてもらいたい。
<p>教員の専門性の向上・指導力</p>	<ul style="list-style-type: none"> もっと絵本に親しめるよう図書室の絵本の置き方を工夫したり、園からのお便り等で、おすすめの本を紹介したりしてもらいたい。
<p>安全・安心な園づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> 行事がたくさんあり、子どもたちは喜んでいますが、少しせわしくなっている。特に10月から3月まで続くイベントを少し減らしてもよいかと思う。 幼児は大人が気を付けていても一瞬だけがをする時がある。安全・安心な取組とともに、たくましさを育み、保護者にもその重要性を啓発していくことを視点に加えてほしい。 地域の防災訓練への参加については、積極的に行ってもらいたい。 幼稚園と小中学校、保育園、町会で顔を合わせ、連携を深め、いざという時には助け合えるようにしたい。 安全面については、とても重視しているので、今後も継続してもらいたい。
<p>子育て支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参観日が少ない意見に対して、仕事をしている保護者が参加しやすい持ち方を工夫するとよい。 学校医の話でスマホの弊害について話があった。園でも子どもの手で作ることが大切である。スマホの取り扱いやアプリの活用など保護者と考えてほしい。
<p>遊びの充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> 雨上がりや冬の霜柱が溶けた後に園庭がぬかるんで使えないのでは、子供たちの運動量に影響する。土壌の改善が必要である。 園庭での活動と園庭環境の充実を窓口に、元気な子どもの育成を重点として、研究を進めていきたい。 遊びの中で様々な力が育っている。発信を工夫し、わかりやすく保護者・地域にも伝えていけるとよい。地域には何が育っているのか見えにくい部分がある。

小学校 重点項目ごとの学校関係者評価【肯定的な意見】抜粋

<p>学 力 向 上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本を重視しながら、主体的・協働的な学習を推進し、思考力・判断力・表現力等の育成を行っている。子どもたちの自己評価が昨年度比で24パーセント伸びているのは教員の不断の努力の結果である。 ・めあて黒板の活用をはじめ、わかりやすい授業に向けた取組の成果として、8割以上の児童が「よくわかった」と回答している。 ・保護者も子どもたちも「わかりやすい授業」について肯定的に捉えているのは、研究授業や全職員が毎時間のめあてを明確にした授業の成果であると捉えられる。また、年2回の漢字検定や算数検定を全学年対象に実施し、受検者数が増加していることは、児童のやる気を引き出し、学力定着のためにより取り組みである。 ・ICT機器を活用し、ユニバーサルデザインの視点にたった授業展開をしている。少人数学習の指導についても、ICT機器を活用して個別指導が充実されている。 ・少人数指導における学級編成は、一人ひとりの児童の実態を把握しているので安心していている。このことが学力調査の結果にも表れているので、今後の指導も期待できる。 ・ブロック担任制を基盤に柔軟な指導体制や指導形態を工夫し、ねらいを明確にして、きめ細やかな指導を行ったことで、児童が意欲的に楽しみながら授業に取り組み、個々の力を伸ばすことができています。 ・管理職、主幹教諭、主任教諭が共通認識をして指導体制や授業改善に取り組んでいる。児童理解に基づく個に応じた指導がなされるとともに、対話型の授業の取り組みがよい。 ・学校が重点として取り組んでいる授業力の向上は、実際に授業参観する中で、目指している方向がよく理解できた。 ・昨年来の新教育課程の重点課題である「個に応じた学習指導の充実」、「考える力を育む授業作り」、「わかりやすい授業の実施」に継続的・意識的に取り組んでおり、今後も実践研究を継続することが望まれる。教職員から児童への「肯定的な言葉かけ」に力を入れることで、子どもの肯定感や意欲を引きだそうとしていること、個別指導の内容や方法を考えながら意識的に机間指導を行うといった工夫に取り組んでいる。
<p>家 庭 ・ 地 域 と の 連 携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA、学校支援地域本部、朝会等の支援連携がよく、その結果はアンケートの結果が各項目とも90%以上の肯定的な評価である。 ・地域の人材を活用したゲストティチャーによる授業が多く取り入れられていることは、地域の情報・共有、伝承という視点で、地域と関わりをもって生きていく子どもたちにとって極めて大切である。 ・学校支援地域本部が児童の情操教育のために講座を開催している。子どもたちは興味・関心に応じて参加している。 ・学校支援地域本部が行う、朝遊び、放課後遊びは毎回多くの児童が参加し、ボランティアの方々との交流がある。 ・学校が積極的に情報発信していることが100%と高評価であり、保護者アンケートの回収率が向上していることから、学校との連携が高まり、学校に対する信頼度が高まっていると捉えられる。

<p>豊かな心・人間性・感性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「なかよし班」活動等の異学年交流や特別支援学級との日常的な交流がなされ、温かい人間関係が育まれている。 ・自己肯定感が6年生で97.8%であるのは、教師が日頃からの声かけや指導がよいものと捉えている。低学年からの積み重ねがあるものであり、全教員の指導の成果と言える。 ・アサーションプログラムは、他者理解教育では効果的である。規範意識の向上にもつながるものである。 ・一人ひとりの児童を大事にしており、道徳の授業を含め、学校教育の様々な場面で心の教育を推進しており、人権が配慮されていてよい。 ・あいさつや言葉遣いに関して、保護者の肯定的評価が向上した。学校が周知・啓発したため、児童に浸透し、保護者も認知するようになった結果と捉えている。 ・交流及び共同学習は、通常学級の子どもたちに対しても人間性の涵養面からも大変好ましい影響をもたらしている。 ・相手を思いやる気持ちや偏見、差別をしない心情が育ってきている。
<p>育特色ある実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・演劇活動や自然体験活動、和食を知る活動など、学校のブランドとして総合的に発展していくことが望まれる。 ・能楽・ダーウィンと様々な分野に触れることができ、子どもたちの興味・関心が高まるよい機会である。子どもも保護者も高い評価をしていてとてもよい。
<p>康体力の増進向上・健康</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・食育も含め、体育等の授業を通して、健康教育にも積極的に取り組んでいる。子どもたちの体力の向上や健康への関心を高めるために日常的な取組を続けている。 ・体力向上については、大縄チャレンジ、ドラえもんカップ、マラソン大会など、子どもたちは、自主的に練習をしたり、みんなでルールを決めたりとコミュニケーションをとる姿が見られた。
<p>生活指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶については、地域や学校公開で会った時に自分からあいさつをする児童が増えている。これについては、継続した指導をして習慣化させる必要がある。 ・生活面において、先生方が子どもたちに対してきめ細やかな配慮や努力を見ることができた。先生方が一丸となって全力を尽くしている姿には頭が下がる。
<p>開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度になり、ホームページの更新回数が増え、学校行事に保護者や地域が多く参加し、児童の成長している姿をも見守っている。PTA連合会等が主催のスポーツを休日に体育館や校庭を活用して実施している。教員の参加もあり開かれた学校の姿であるといえる。 ・情報発信が適切に行われており、豊かな学びに保護者や地域が協力することに役立っている。地域との関係が良好で、今後もこの関係を続けてもらいたい。
<p>安全・安心な学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導週間はもとより、地域の方々の協力による登校指導や日常的な目配りが児童の安全を支える大きな力になっていることを確認した。 ・登校班、スクールガード等により、児童は自分の親以外の大人と接する機会を日々得ており、そのことが児童にとって「地域に見守られている」意識をもつことに繋がっている。

小学校 重点目標ごとの学校関係者評価【改善に向けた意見】抜粋

<p>学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> 算数の少人数指導では、担当教員と学年間での指導や評価方法について丁寧に共通理解を図るなど、指導方法をそろえていく。 平成28年度に電子黒板やタブレットの活用が始まるようだが、書く活動は大切である。ICT機器については有効な活用をしてもらいたい。 算数の研究、俳句の指導、読書活動の工夫については、今後も継続して発展させることが望まれる。 基礎学力の定着が見られない児童については、個々に補習をしたり、習熟度別の宿題を出したりするなど、具体的な方策を考えてもらいたい。 電子黒板やタブレット等の効果的な活用や専門家による指導、体験学習の充実を一層図り、児童の理解を深め、楽しく学べる授業づくりに期待する。 学力の2極化傾向が明らかである。学習につまずきのある児童については、個に応じた工夫が必要であることはもちろんだが、習熟の早い児童に対しても手だてが必要である。
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体力の向上やSNSルールなど、保護者や地域と連携が必要なことについては、学校が先行して啓発してもらえよう願う。 地域行事については、開催曜日や時間の都合で管理職や一部の教員が参加することがあるが、更に広く教員に参加する機会をもち、地域との連携の礎を築く努力が望まれる。 子どもたちに地域コミュニティの一員としての自覚を持ってもらえるような活動を続けてもらいたい。 学びの充実のためには、保護者ボランティアによる読み聞かせや英語活動、地域ボランティアによる地域の歴史や戦争の話など推進してもらいたい。
<p>豊かな心・人間性・感性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> 人格と個性を尊重し、自己や他者を大切にすることを今後も丁寧に育んでいく。今後も保護者との連携をきめ細かく実施する。 あいさつについては、昨年度に比べ改善が図られている。今後は、特別活動部を中心に児童の主体的な活動に取り組む。また、登校指導時等に積極的に働きかけていく。 「あいさつ」や「言葉遣い」など規範意識については、人間性を高める意識レベルの改革が必要になる。 命の大切さや思いやりについては、学校だけでなく、家庭でも取り組んでほしい。 コミュニケーション能力を高める視点から、あいさつやルールを守る指導を重視しているが、子どもたちの達成感と地域や保護者、教員の評価にギャップがある。学校と地域・家庭が共通理解して、取り組むことが大切である。 自分の気持ちを正しく伝えることができないために誤解を生じ、トラブルになることが多い。教員は児童の気持ちを聞き出したり、児童がお互いに気持ちを認め合ったりすることが大切である。 学校のスタンダード（学習編）については、ユニバーサルデザイン化のことなどよくわかった。生活編についても具体的な取り組みをもらいたい。 いじめはどこにでもあると思うので、よりきめ細かく子どもたちの様子を観察し、早期対応を今後もお願いしたい。 スタンダードについて大切さがわかり生活できたが、高学年になるほど、そう思うの数値が減少する。このことから中学校までの義務教育9年間を見通して見直すことが必要である。
<p>特色ある教育の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> 菊づくりは大変であると思うが、本校の特色ある教育の一つであるが、目標通りに行われているかどうかは疑問が残る。 特別授業や地域教育活動は、外部講師のボランティアによって成り立っている。このような教育活動が更に盛んになると、予算措置、教育課程との関連もあり、運営が厳しくなってくる。その対応が必要になるのではないだろうか。（区教委との対応も含め） 邦楽鑑賞教室は日本の伝統文化に触れ、よさを発信する能力を高めることに繋がり充実していた。今後もこのようなL I V Eな体験ができる機会を増やしてもらいたい。

健康・体力の保持増進	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上アドバイザーと連携しながら、「マラソン朝会」「竹馬」「一輪車検定」等の取り組みを今後も重視して、子どもたちの更なる体力の向上、健康の増進を目指してほしい。 ・生活様式や外遊びの時間の変化などの要因があるが、家庭との連携を図り、体力向上プログラムの実践を推進してもらいたい。家庭教育の重要性を保護者が認識できないと学校の取り組みが半減する。 ・子どもの体力向上を重要な課題として教職員間で理解し、限られた環境や時間の中で、「一校一取組」や休み時間の工夫を行い、全校一丸となって児童の体力向上に取り組んでいる。長期的になるかもしれないが、確実に成果が上がることを期待する。 ・昨年度来の課題であるが、体育朝会や30分の長休み時間を活用して教師が率先して体を動かし、さらに充実した活動になることを期待したい。運動習慣の形成も含め、そうした素朴な身体活動レベルでの改善のためには学校内のみならず、学校外関係者の力を借りる必要も考えられる。
学校運営	<ul style="list-style-type: none"> ・孤独になる教員を生み出さない取り組みを継続し、各種問題を共有できる風通しのよい職場づくりをすることが望まれる。また、教員は指導技術のみならず、広く教養を身に付ける努力を心がけてもらいたい。 ・保護者・地域に開いた学校は、ただ単に学校の施設を開放することではない。学校を地域に開くとは、学校経営方針及び教育課程を保護者・地域にわかりやすく説明するとともに、保護者・地域の意見を反映させ、計画性と一貫性と透明性のある学校経営を行うことではないだろうか。学校運営には、保護者・地域等の意見を反映させることが大切である。そのためには、学校は、保護者・地域からの耳触りのいい声だけを聴くのではなく、保護者・地域の声なき声にも注意深く耳を傾けていくことが必要である。保護者・地域の学校に寄せる厳しい意見は、学校への期待であると考えられる。
(開かれた学校づくり 情報発信を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との情報共有をより密にするには、学校の求める情報と保護者の求める情報の不一致を解消することが重要である。保護者へのアンケート結果については否定的な回答を精査するとよい。 ・保護者アンケートの「いじめの対応」に関して、「分からない」が高い数値を示しています。いじめの問題についての発信を積極的に進める必要がある。 ・コミュニティ・スクールに指定されたことから、これまでの地域との連携を踏まえ、一層地域との連携を深め、学校と地域が一体となって児童を支える状況を創り出すことを期待する。その際に、保護者アンケートから学校の特色ある取り組みが必ずしも周知されていない結果から、従来の学校の情報発信の時期や方法を、担当者の負担にならないように管理運用体制を作ることが望まれる。
安全・安心な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎の老朽化が心配である。災害に備えて防火用水としてプールへの入水をお願いしたい。 ・安全・安心な学校づくりに向けて、子どもたちの判断力や危険予知能力について向上させる必要がある。 ・組体操については様々な報道があり安全について心配があるが、組体操の内容や技の見直し、補助教員の増員、教員研修の実施等を徹底し、安全第一で実施してほしい。

中学校 重点項目ごとの学校関係者評価【肯定的な意見】抜粋

<p>学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力の定着では、「せるすたクラブ」と称した放課後の学習支援、数学検定・英語検定対策講座などを実施し、生徒の学習の機会を保障している。生徒の学習時間が昨年度に比べ伸びている。 ・ 「しっかりと自分の考えをもち表現する」ことを全教科・領域を通じて取り組んでいることはよい取り組みである。特に3年生の「自分の考えを書く、発表する、共有し深める」授業は評価できる。1年生から継続的に取り組み、全員が行えるような目標設定をするなど、今後の取り組みを期待する。 ・ 期末試験が2日間から3日間になり、生徒からは精神的余裕が生まれ高評価だった。保護者からも高評価である。 ・ 数学・英語については、全学年全学級で1学級2展開の習熟度別学習を行っている。生徒の学力が向上していることは、学力調査で証明されているので評価する。 ・ 放課後や長期休業日中の補充学習などで、生徒の基礎学力を身に付けている。先生方は生徒を大切に指導しているので、感謝している。
<p>豊かな人間性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月第二土曜日を「職業教育の日」と設定され、積極的に職業教育に取り組まれている姿勢は高く評価します。広い意味での「自らの生き方」を考える授業を来年度も実施してください。 ・ 弁論大会、美術館鑑賞、席書大会など特徴のある行事があり、生徒の可能性を引き出している。今後も継続してほしい。 ・ 個々の生徒に目が届き、生徒が安定して学校生活を送っている。このことから豊かな心が育まれる環境にあると言える。 ・ 豊かな人間性の育成について、高評価であった。学校教育に対する教員の向上心が伺える。 ・ 「いじめのない人間関係を構築している」「悩みを相談する人がいる」が高い評価であった。
<p>教職員の専門性の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者アンケートにおいて、教職員の対応が丁寧であるとの評価が得られており、着実な教職員の資質向上が行われていることが現われている。
<p>開かれた学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校便りの発行、お便りの地域、小学校への配布、ホームページの更新など、学校の取り組みをPRする活動が計画的に進められている。
<p>家庭・地域との連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・保護者との連携では、教員の対応は概ね良好であり、保護者の意見を受け止め、協力して教育を進めていると捉える保護者が増えた。教員の丁寧な対応については、98%の保護者が肯定的に受け止めている。 ・ 中学校に関係する人々や組織に対しても積極的にPRしているため、地域の高い評価を得ている。過去数年における生徒数の増加につながったと想定される。今年度もこの点は継続してもらいたい。
<p>特色ある教育の実践</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習だけでなくその他の教育活動についても、中学校の教育が保護者や地域に十分に周知されていると考える。
<p>信頼される学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 先生方の真摯な指導と対応により、生徒は昨年度以上に学校行事に取り組み、充実感と達成感を感じており、保護者も満足していると感じていました。

中学校 重点項目ごとの学校関係者評価【改善に向けた意見】抜粋

<p>学力向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 確かな学力の定着では、「授業のわかりやすさ」においては教科間にばらつきがあり、生徒の理解力・能力にも差がある。わかりやすい授業を目指した研究を通して、授業改善の取り組みを推進し、その成果や課題を保護者・地域に知らせる。 ・ 個別指導は生徒の状況が一人ひとり異なるが、放課後の計画的な補習など引き続き実施し、一人ひとりに応じたきめ細やかな指導に期待する。 ・ 「検定学習会」や「東大生による学習教室」は参加している生徒からは好評であることから、生徒の家庭学習に生かせるように更なるPRと運営方法について検討をお願いする。 ・ ステップアップ学習教室・検定学習を継続していただきたい。また、次年度について、パソコン学習を利用して基礎学力の向上をお願いしたい。読書のための本の充実・プロジェクターや電子黒板を利用した質の高い授業の継続をお願いしたい。 ・ 「検定学習会」や「学習教室」は参加している生徒が6割に達していない。近隣大学との連携により早期のチュータの確保により、具体的な改善案に基づき今後の展開と成果に期待したい。
<p>豊かな心 人間性の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ あいさつについては、登下校時の様子に年々幼さを感じてきているという意見が聞かれます。道いっばいに広がって歩く、高齢者がいても全力で走って通り過ぎるなど、校内だけでなく、家庭・地域と連携して見守っていききたいと思えます。 ・ 生徒数が多いことから、スクールカウンセラーの1年生全員との面談が終了するのに4月～7月の1学期間かかった。しかも一人10分程度だった。今後本当の面談を確立していく為にまだまだ工夫が必要である。区の全面的ご協力をいただき「真のこころの支え」となるようにしていただきたい。
<p>教職員の 専門性の 向上・指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ アクティブボード等のICT教育の推進により、生徒からは学習効率が上がり、理解しやすいという反面、頭痛や目の疲れ等の健康被害を訴える生徒がいる。適度な照明や使用時間、方法等についてさらに、教員研修などの検討をお願いする。
<p>開かれた 学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保護者の意識改革が不可欠だが、近隣小学校や地域・保護者への広報活動の徹底により、中学校のよさが増えるように更なる工夫をして欲しい。 ・ 保護者のアンケートにおいて、「わからない」と答えている項目があるので、連絡の方法や周知・理解のための発信に努めるべきである。
<p>信頼される 学校づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 管理職が数年で変わるたびに学校の特徴が大きく変わるというケースが見られる。学校の伝統がよい意味で継承される意味でも、管理職の高い指導力および力量が求められる。
<p>家庭・ 地域との 連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域・保護者との連携を一層深め、小学生のための部活動体験のみならず、授業体験や校内めぐりなど、中学校の魅力をPRする方策を工夫する。 ・ 登下校の様子から、落ち着いて学習や行事に取り組んでいる。そのため、地域の信頼が高いので、生徒増加に向けて中学校の面倒見のよさや中学校のPRに協力していきたい。 ・ 保護者が評価できていない部分もある。どのように学校の取組を伝え、理解させるのかをしっかりと考え、具体的に取り組んでいく必要がある。

平成27年度学校関係者評価共通項目（集計結果）

(園)

幼稚園		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	4.00	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	4.00	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	10	0	0	0	4.00	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	10	0	0	0	4.00	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	10	0	0	0	4.00	A

(校)

小学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	19	1	0	0	3.95	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	18	2	0	0	3.90	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	16	4	0	0	3.80	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	17	3	0	0	3.85	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	17	3	0	0	3.85	A

(校)

中学校		A	B	C	D	区平均	
1	重点目標（中・短期経営目標含む）が、適切である。 （課題を踏まえて具体的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	4.00	A
2	具体的取組の設定は、適切である。 （目標を達成するために、有効的かつ明確に示されているか）	10	0	0	0	4.00	A
3	自己評価の分析は適切である。 （成果や課題について、分析や解釈がきちんと行われているか）	8	2	0	0	3.80	A
4	課題に対する改善策は適切である。 （有効とされる改善策が明確に示されているか）	8	2	0	0	3.80	A
5	学校関係者評価のための資料は適切である。 （学校の自己評価結果を評価するために必要かつ分かりやすい資料が提供されているか）	9	1	0	0	3.90	A

※各関係者評価委員が4段階で評価した学校(園)の平均値を下記の基準をもとにABCDの4段階で評定したもの。
 (A: 4~3.4以上、B: 3.4未満~2.6以上、C: 2.6未満~1.8以上、D: 1.8未満)

平成27年度 保護者アンケート(区共通項目)集計結果

質問項目	幼稚園					わからな い・無回 答(%)
	とても あてはま る(%)	まあ あてはま る(%)	あまり あてはま らない(%)	まったく あてはま ない(%)	まった くあては まらない(%)	
1 本校(園)の教育活動に満足している。	70.2	27.7	1.0	0.5	0.6	
2 本校(園)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	82.3	17.2	0.1	0.1	0.3	
3 本校(園)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	70.1	27.2	0.8	0.7	1.2	
4 本校(園)は、特色ある学校(園)づくりに積極的に取り組んでいる。	70.4	25.5	2.3	0.7	1.1	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】						
6 本園は、一人一人の幼児理解に努め、適切な保育に努めている。【幼稚園】	66.1	30.8	0.9	0.6	1.6	
7 本校は、学校生活で起きた問題(いじめ等)に対して、素早く適切に対応している。	60.5	30.4	2.5	0.9	5.7	
8 本校(園)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	64.5	32.3	2.4	0.4	0.4	
9 本校(園)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	64.6	31.4	1.9	0.4	1.7	
10 本校(園)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	65.1	30.5	2.1	1.5	0.8	
11 来校時や電話での本校(園)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	79.9	18.1	1.8	0.1	0.1	
現在の本園に総合的に満足している。(幼稚園のみ)	75.7	22.3	1.5	0.3	0.2	

質問項目	小学校					わからな い・無回 答(%)
	とても あてはま る(%)	まあ あてはま る(%)	あまり あてはま らない(%)	まったく あてはま らない(%)	まった くあては まらない(%)	
1 本校(校)の教育活動に満足している。	44.6	48.4	4.1	0.9	2.0	
2 本校(校)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	53.5	40.2	3.7	1.1	1.5	
3 本校(校)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	41.0	47.5	4.9	1.4	5.2	
4 本校(校)は、特色ある学校(校)づくりに積極的に取り組んでいる。	47.7	40.7	6.5	0.6	4.5	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	41.5	49.0	3.9	0.9	4.7	
6 本校は、一人一人の児童理解に努め、適切な学習に努めている。【小学校】	30.9	41.1	6.2	1.9	19.9	
7 本校(校)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	45.0	45.2	3.5	1.1	5.2	
8 本校(校)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	43.8	45.6	5.3	1.2	3.3	
9 本校(校)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	42.3	45.7	4.5	1.6	5.9	
10 来校時や電話での本校(校)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	61.2	34.2	2.5	0.5	1.6	
現在の本校に総合的に満足している。(小学校のみ)						

質問項目	中学校					わからな い・無回 答(%)
	とても あてはま る(%)	まあ あてはま る(%)	あまり あてはま らない(%)	まったく あてはま らない(%)	まった くあては まらない(%)	
1 本校(校)の教育活動に満足している。	27.4	60.4	8.2	1.5	2.5	
2 本校(校)の子どもたちは、学校が楽しいと感じている。	33.3	54.1	6.9	1.2	4.5	
3 本校(校)では、一人一人が大切にされ、子どもの人権に配慮した教育が行われている。	26.1	52.7	9.9	2.7	8.6	
4 本校(校)は、特色ある学校(校)づくりに積極的に取り組んでいる。	27.8	47.3	14.1	1.1	9.7	
5 本校の授業は、子どもにとって分かりやすい内容である。【小・中学校】	16.4	53.3	13.8	2.1	14.4	
6 本校は、一人一人の生徒理解に努め、適切な学習に努めている。【中学校】						
7 本校(校)では、子どもの安全管理や事故防止に努めている。	21.8	39.3	7.9	2.8	28.2	
8 本校(校)は、保護者や地域に対し、積極的に情報を発信している。	28.0	54.2	5.0	0.9	11.9	
9 本校(校)は、保護者の意見・要望を受け止めながら、協力して教育を進めようとしている。	32.0	51.4	10.1	0.9	5.6	
10 来校時や電話での本校(校)の教職員の学校職員のあいさつや対応は、適切である。	26.8	51.3	9.5	2.4	10.0	
現在の本校に総合的に満足している。(中学校のみ)	51.3	42.7	3.9	1.2	0.9	
現在の本校に総合的に満足している。(区全体)						

※ 数値は、各学校の平均値